

海外出張報告

【サウディ・アラビア国北部紅海沿岸生物環境・生物インベントリー調査】

担当者：原田 洋一（大阪支店環境調査グループ）、土肥 和彦（環境技術本部）

発注機関：国際協力事業団

調査期間：平成9年12月～平成12年3月

調査団：総括以下全10名（財 自然環境研究センターと共同）

調査の目的は、生物多様性が高い場所とみなされている紅海北部地域において、

1. 生物インベントリー（種のリスト）の作成
2. 地域住民啓発のための資料の作成
3. 環境管理計画のための生物環境図及び GIS データベースの作成
4. 調査・解析手法の技術移転 を実施することである。

当社からは4名の調査団員（海藻藻類、魚類、底生動物、航空写真解析の各団員）を参画させた。

見出された種群数は、サンゴ250種、海草藻類188種、魚類378種、メガロベントス341種、海生哺乳類13種、ウミガメ5種、鳥類82種、沿岸植物（マングローブを含む）159種であった。環境啓発のための資料としては「紅海海洋生物の解説資料」（英語・アラビア語）、「紅海の絵本」（アラビア語）及び「調査活動記録ビデオ」（英語）を作成した。更に膨大な量の調査結果を盛り込んだ生物環境図やGISを完成させた。

これらの成果にはサウディアラビア側から多大な讃辞と感謝が寄せられ、各調査団員にはサウディアラビア国王から感謝状が与えられた。



資格合格者発表

当社では、保有技術や知識の成果を裏付けるものとして、資格受験を励行しています。

		部 門	数
技術士	建設	河川、砂防及び海岸	3
		港湾及び空港	5
		電力土木	1
		道路	1
		土質及び基礎	2
		建設環境	11
		水道	下水道
	衛生工学	水質管理	2
	水産	漁業及び増養殖	5
		水産水域環境	3
		水産土木	1
	情報工学	情報数理及び知識処理	1
		情報応用	1
	応用理学	物理及び化学	1
		地質	1
		地球物理及び地球化学	17
	環境	環境保全計画	6
		環境測定	1
		自然環境保全	4
合計			67
RCCM	河川、砂防及び海岸	6	
	港湾及び空港	3	
	土質及び基礎	1	
	建設環境	14	
	水産土木	1	
	合計	23	

